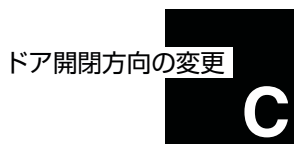


# 冷凍冷蔵庫 SCS81800F0

# 設置マニュアル



- A-1 放熱のための空気の流路の確認
- A-2 キャビネット開口寸法とドア材の寸法



- 設置の手順

設置は必ず設置マニュアルに従って施工してください。

適切に施工されていない場合は、故障の原因となり、保証期間内であっても修理費用が発生することがあります。

## 工事される方へのお願い

- 設置工事の前に、この設置マニュアルをよくお読みのうえ正しく設置して下さい。  
電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しないで下さい。漏電やショートによる感電火災の原因になります。
- プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込んで下さい。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電火災の原因になります。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使い方をご説明下さい。この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼して下さい。
- 本体設置時に分解をしないで下さい。

●ここに示す注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

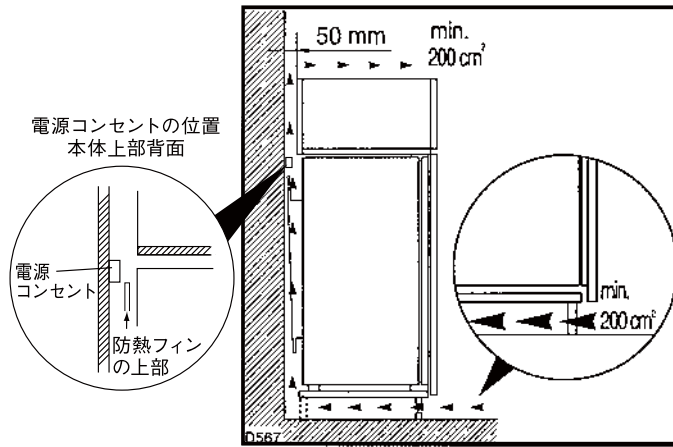
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。
		この絵表示は、してはいけない『禁止の行為』内容です。
		この絵表示は、必ず実行いただく『強制指示の行為』内容です。

<p><b>警告</b></p>	<p>設置工事は、設置マニュアルに従い確実に行って下さい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 電源は200V・20A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置すること。 また、電源プラグ(250V・20A)に合った専用コンセントを単独で使用して下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源回路の容量不足や据付工事不備があると感電、火災の原因になります。 電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令規則等に従って必ず「法的有資格者」が行なって下さい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。</li> </ul>
	<p>アース線接続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アースが不完全な場合は、故障や漏電のときに感電のおそれがあります。</li> </ul>
	<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 絶対に分解絶対に分解・修理・改造を行なわないで下さい。</li> <li>● 火災、けが、感電の原因になります。</li> </ul>

本製品は[消防法設置基準]に基づく試験基準に適合しています。

設置準備(放熱のための空気の流路の確認)

A-1



**重要**

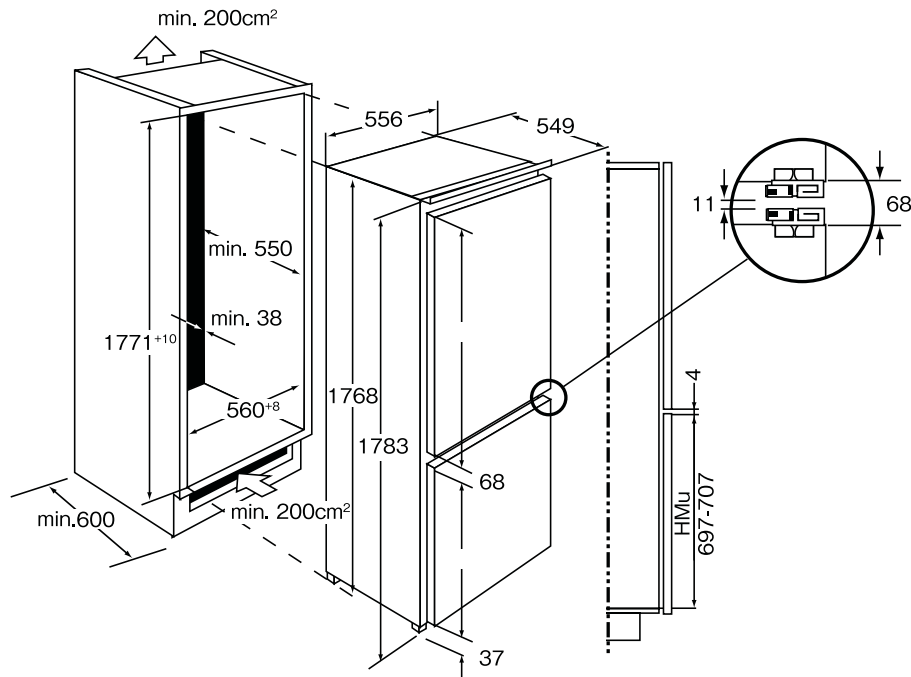
冷凍冷蔵庫はビルトインした場合放熱のための給排気のスペースを確保する必要があります。空気が本体下部から背面を通過して上部へ抜けるようにしてください。空気の流れが悪いと故障の原因になる場合があります。

**電源設置**

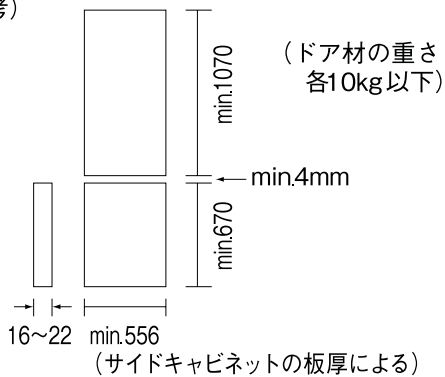
- 電源は必ず専用回路を設けてください。・単相 200V 50Hz/60Hz
- 電源は本体上部、(C-2b)または左右どちらかに設けてください。背面に設けるとビルトインした時に放熱器と干渉してとプラグが押しつぶされることがあります。

設置準備(キャビネット開口寸法とドア材の寸法)

A-2



ドア材寸法  
(参考)



**注意**

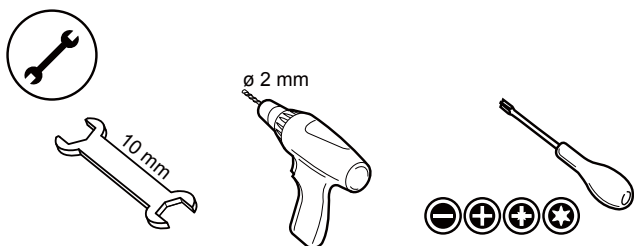
ドア材寸法は機械的参考寸法です。実際の設計はデザインを考慮して下さい。

**重要**

冷凍冷蔵庫(キャビネット)の設置場所にも注意が必要です。直接日光が当たったり、近くに加熱機器等があると周囲の温度が高くなり、十分な冷却性能が得られなくなる場合があります。

# B

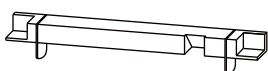
## 1



**1**各 부품の数量を確認してください。部品「L」は手で2つに分けてください。

※「E」、「G」、「J」は2個ずつ余ります。大切に保管してください。

A 2x



H 2x



B 1x

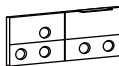


I 35x



Ø3,5 - 13 mm

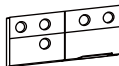
C 2x



J 6x



D 2x

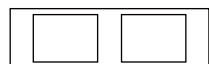


K 4x

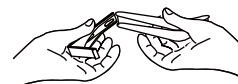


L/L

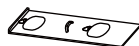
E 2x



L 1x



F 4x

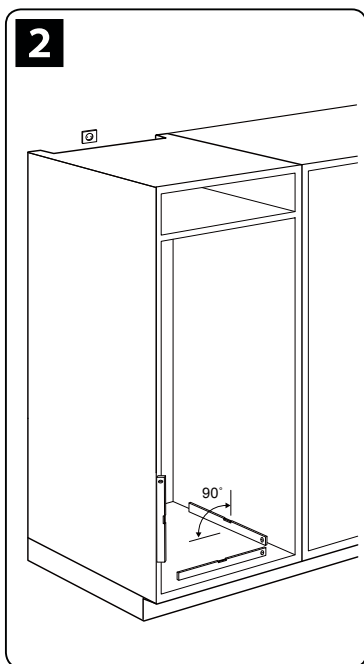
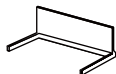


M 4x

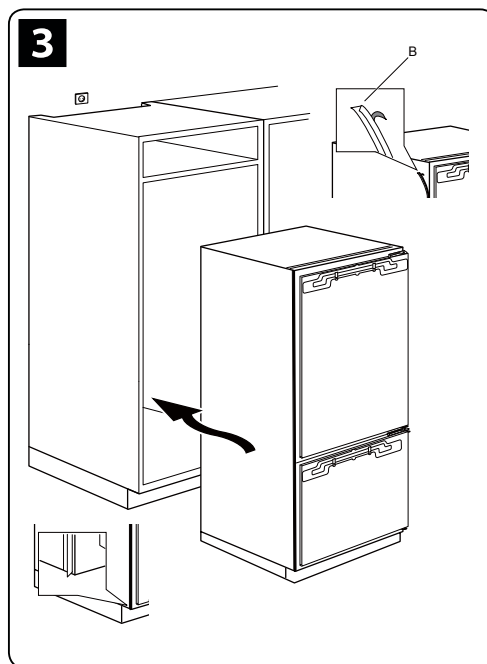


Ø3,5 - 16 mm

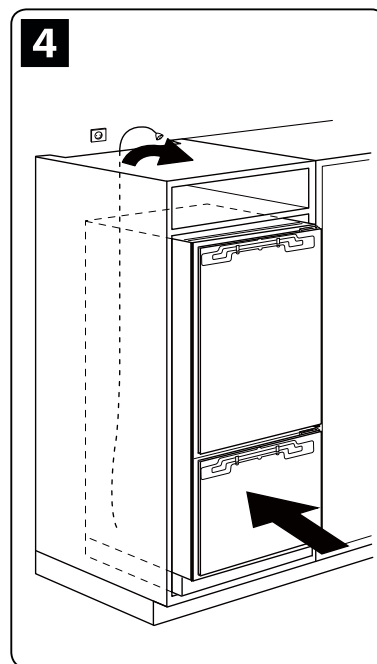
G 8x



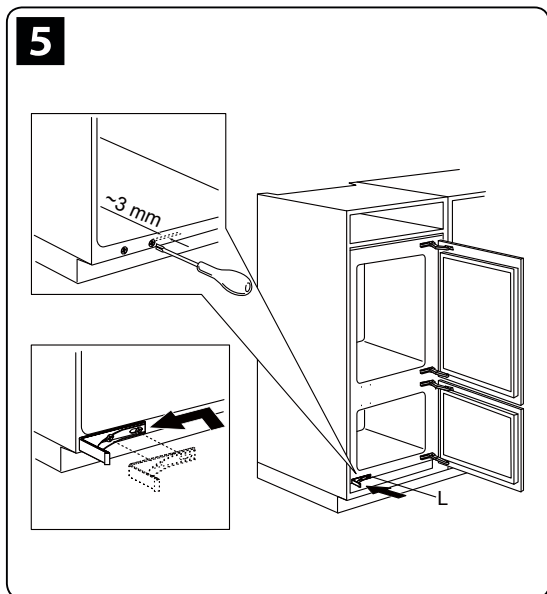
**2**本機をビルトインするキャビネットの水平と垂直を確認してください。



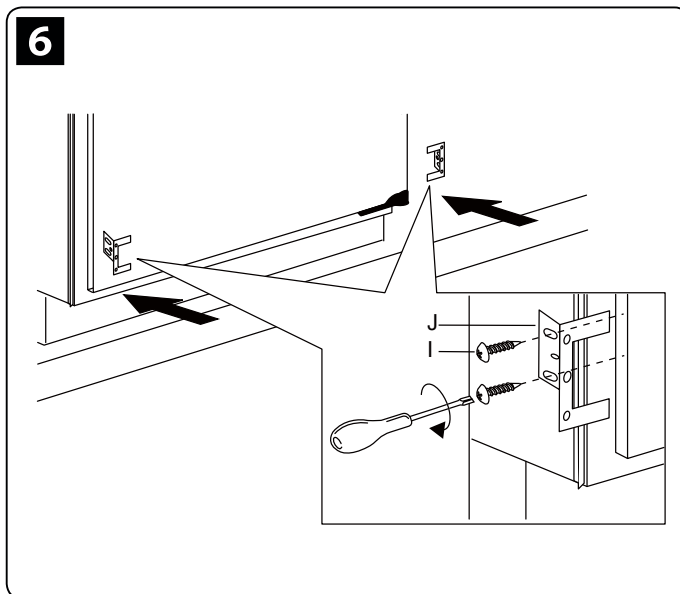
**3**シール用の部品「B」を本体のドア部分に図のようにはがして固定します。このとき、最下部の位置に注意してください。



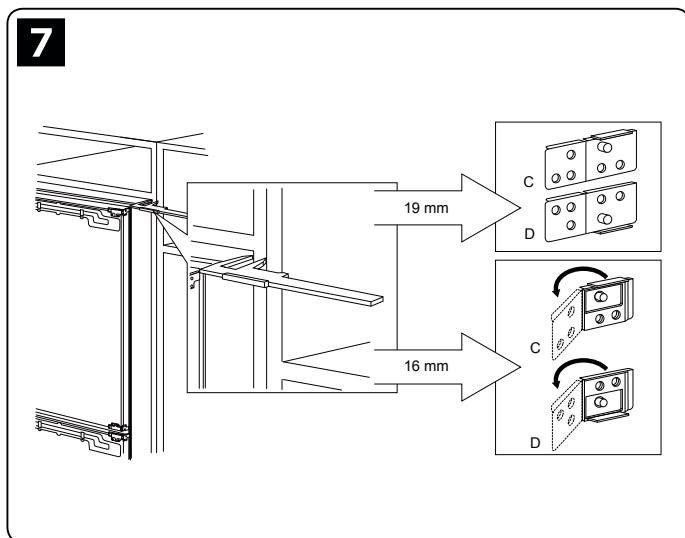
**4**背面側の電源コードと冷媒配管に気をつけながら、キャビネットに本機をゆっくりと図のように押し込みます。



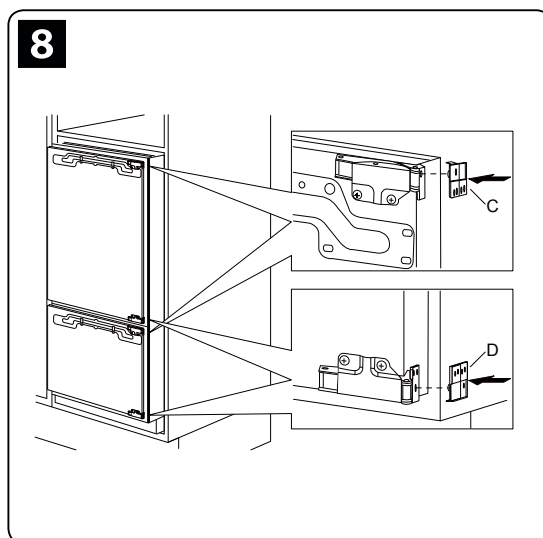
**5** 部品「L」を図のようにネジをゆるめてスライドさせながらはめ込みます。  
※固定はしないでください。

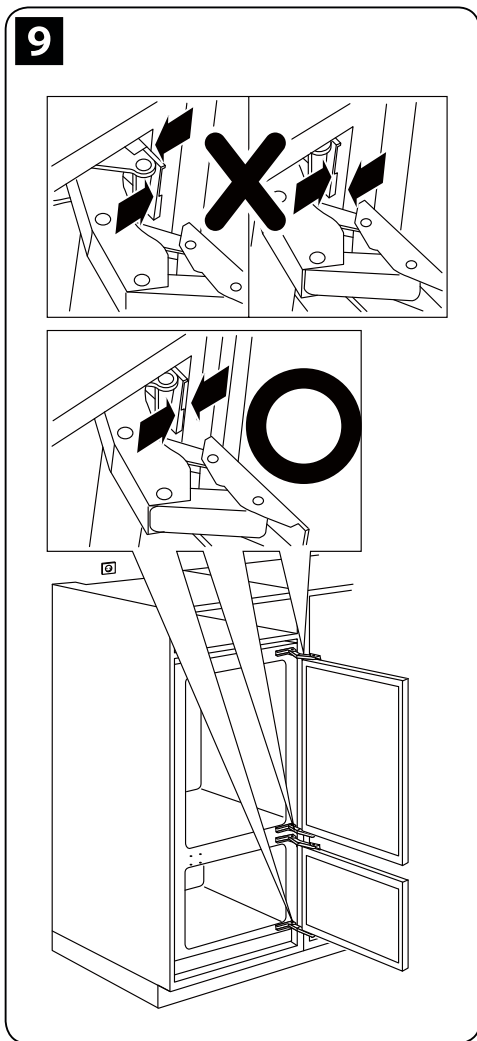


**6** 扉の側面に、部品「J」を部品「I」のネジを使用して仮固定します。  
※左右、冷蔵・冷凍ドアの下部に取り付けます。

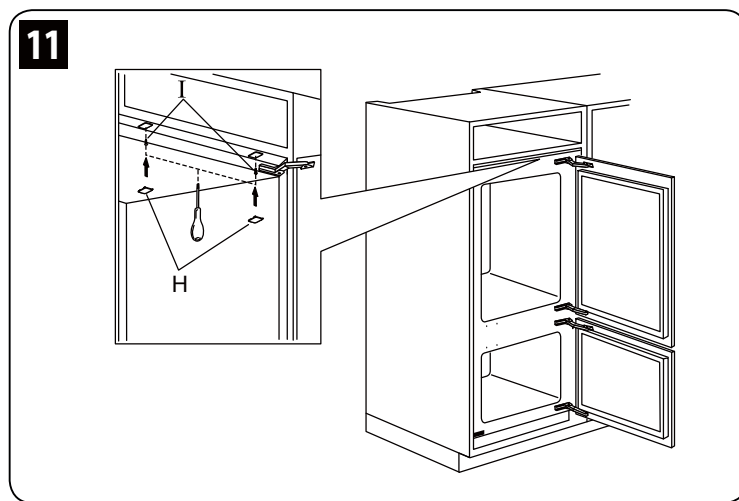
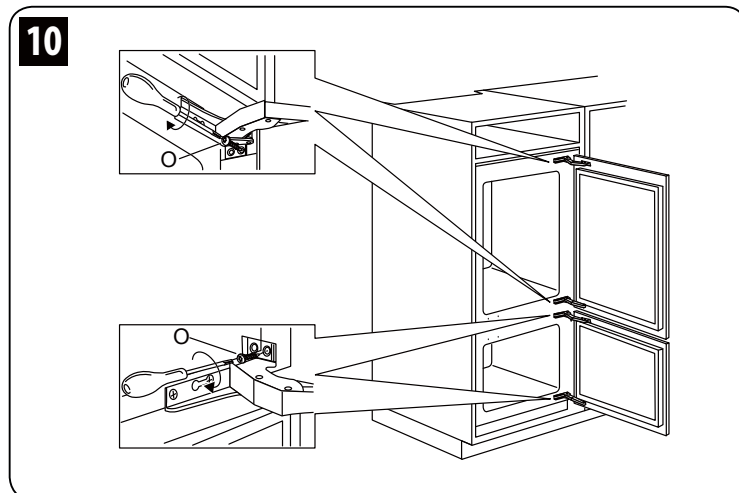


**7** ノギス、定規などでキャビネットの板厚を測り、図のように取り付けします。  
→16mmの場合：部品「C」「D」を二つ折りにします。  
→19mmの場合：部品「C」「D」はそのまま使用します。

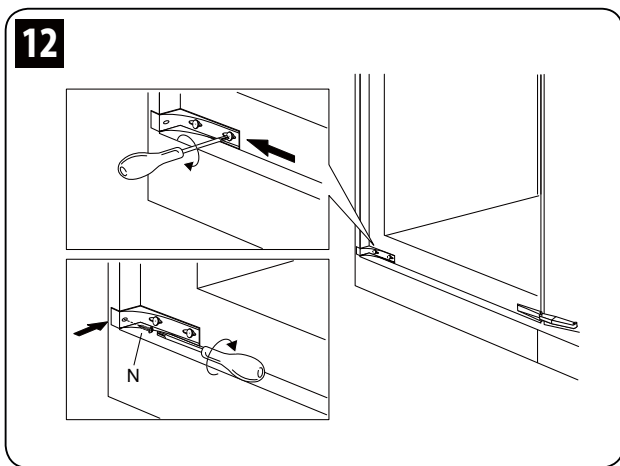




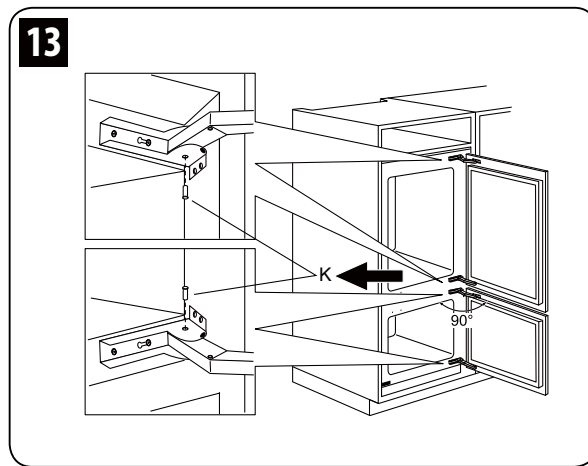
**9** 図のように、部品「C」「D」がキャビネットの面と同一になるように調節してください。  
 ※キャビネットの奥に入り込んだり、出てしまわないようにご注意ください。



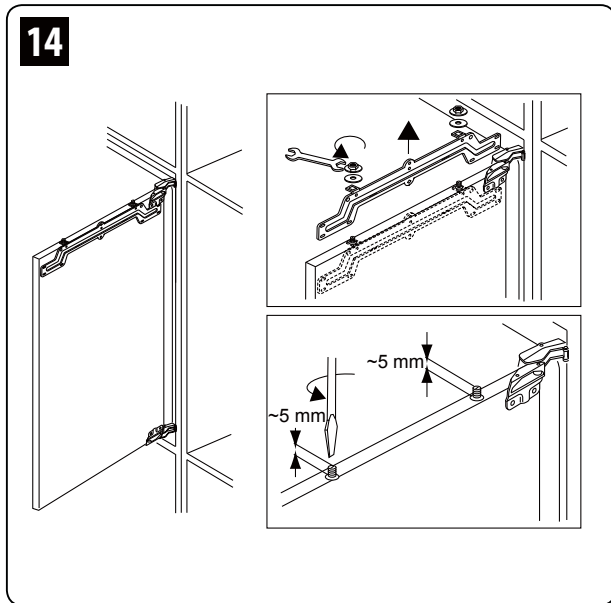
**10** 9でセットした位置で、部品「D」のネジを使用してキャビネットに本機を固定します。  
**11** 本機の上部をキャビネットに部品「I」のネジを使用して固定します。次に「H」の部品を取り付けします。



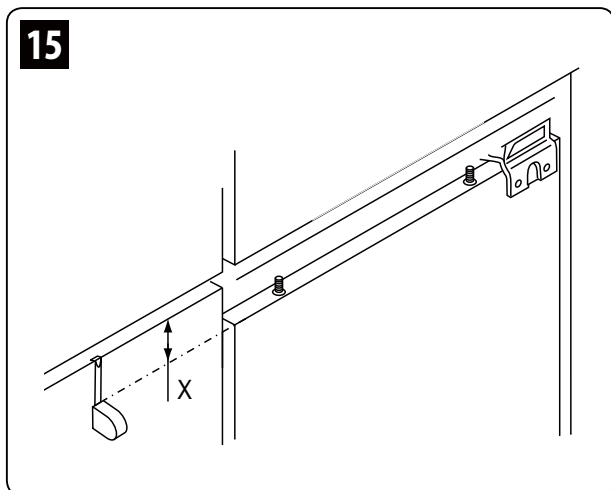
**12** 5ではめ込んだ部品「L」をキャビネットの面に当たる位置までスライドさせ、ネジでしっかり固定してください。次に部品「N」のネジを使用してキャビネットに固定してください。



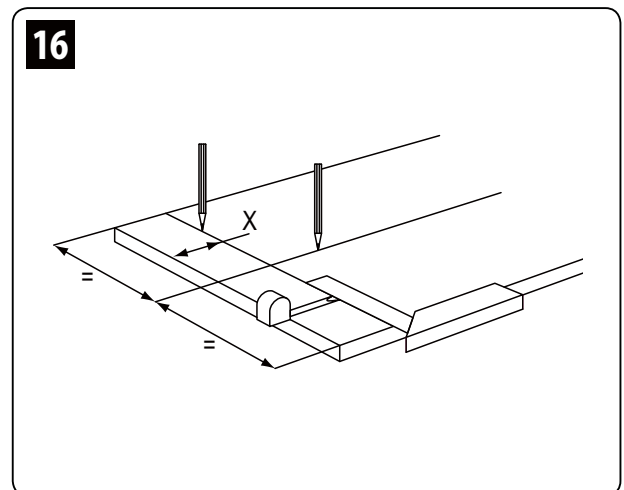
**13** ドアを90°まで開き、部品「K」を冷蔵・冷凍ドアに各2本ずつ図のように差し込みます。



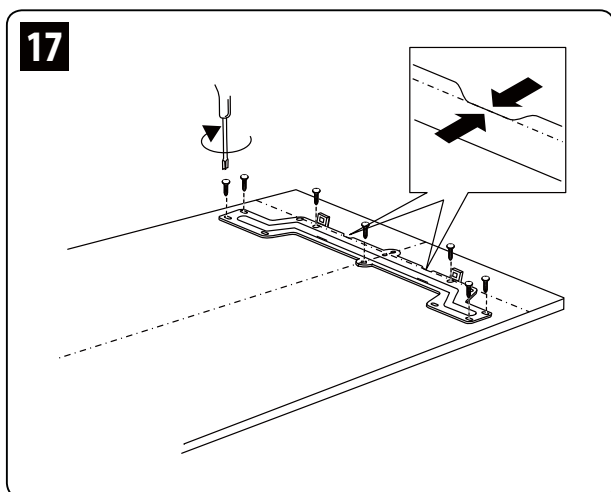
- 14** 冷蔵・冷凍ドアそれぞれのドア材固定金具を取り外します。取り外したナット、ワッシャーは使用しますので、紛失しないようにしてください。ドア上部から出ているピンは、最大で5mmまで引き出せます。  
※5mmを超えて引き出さないでください。



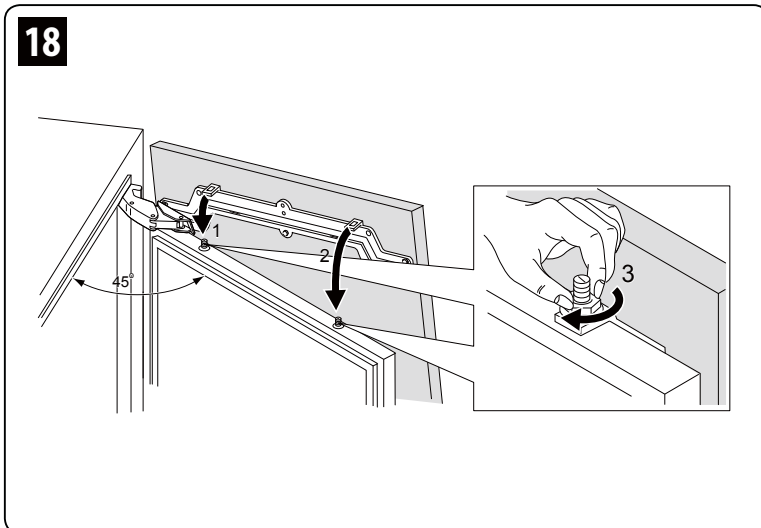
- 15** 周りのキャビネットの天面からドアの天面までの長さ「X」を測ります。



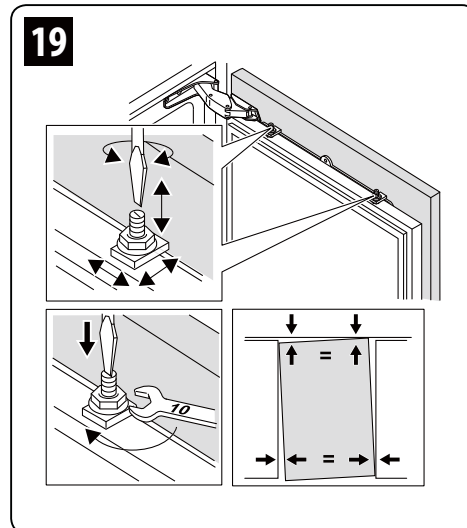
- 16** ドア材の裏面に墨出しをします。それぞれ天面から「X」側面の中心に線を引きます。



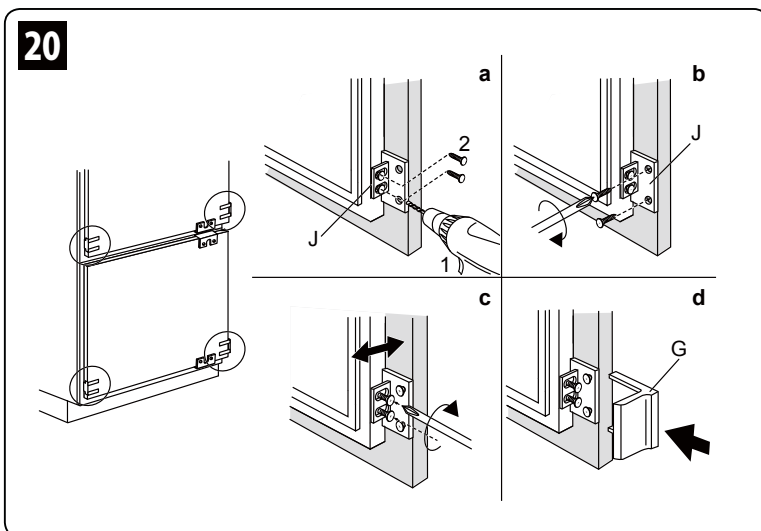
- 17** 16で出した墨の線に対し、図のようにドア材固定金具を合わせて部品「1」のネジで7本固定します。



**18** 冷蔵ドアにドア材を取り付けします。ここで**14**で取り外したナットとワッシャーを交換します。この時ドアは45°に開けて作業してください。

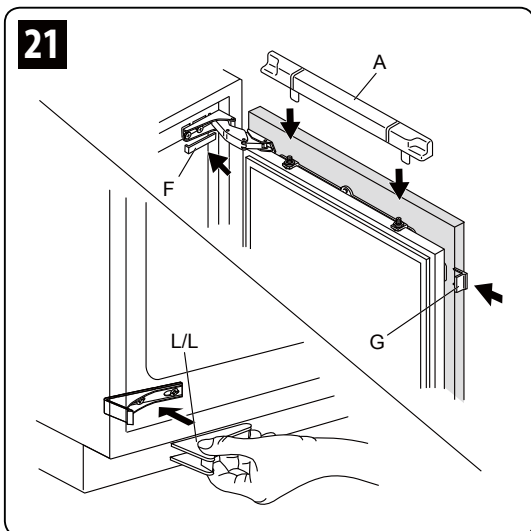


**19** ドライバーを使用してネジ調整を行い、ドア材の位置を調整します。位置が決まったらナットをしっかりと締めこみます。



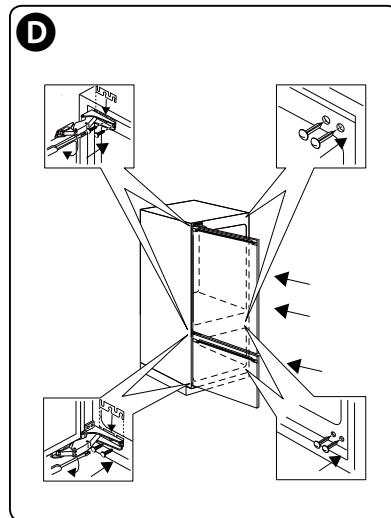
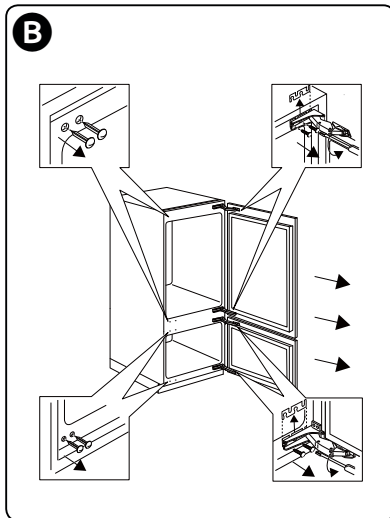
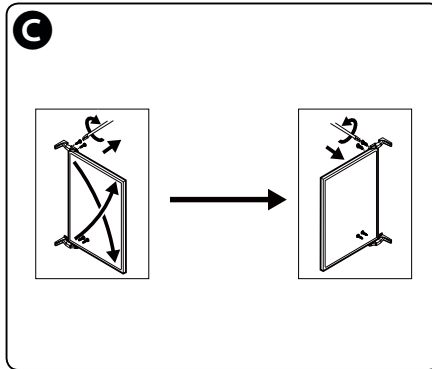
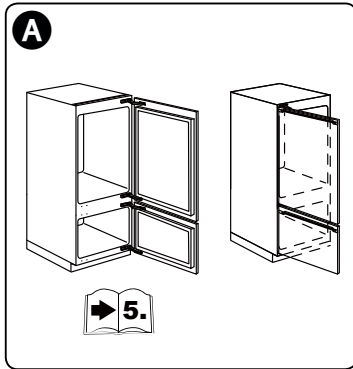
**20** **15**～**19**までの行程を冷凍ドアでも行った後、図の手順に従って、ドアにドア材を固定します。**6**で取りつけた部品「J」をドア材に固定します。この時必ず一度ドアを開めて、ドアパッキンが密着するかを確認してください。(ドア材の固定位置によってはドアが完全に閉じなくなる場合があります。これは、冷却能力の低下、霜つき等の原因となりますのでご注意ください。)

ドア材固定後、部品「J」の金具に部品「G」をかぶせます。



**21** 部品「A」「F」「G」「L」を各部のネジ部分に取り付けて保護します。

これで設置は完了です。使用開始後、ドア材の固定状態、扉の閉まり具合を確認してください。もし、霜つき等が発生するようであれば、**18**～**20**項のドア材の位置調整を行ってください。



ドアが開く側を、必要に応じて右側から左側に変更できます。(納品時の状態のとき) ドアの開閉方向を変更するには、左の図に従って変更してください。

※ドア材取り付け後は、周りのドア材との距離が変わることがありますのでご注意ください。

●手順は以下の通りです。

●取付を行う方の目隠しキャップをマイナスドライバーで回しながら外します。次にヒンジ側のネジを外してドアを取り外してください。

※本機とヒンジの間の部品は使用しますので、紛失しないようにしてください。

●ヒンジを対角線上に付け替えます。

●図のようにドアを本機に取り付けます。

**警告**

ドアの開閉方向の変更が済んだら、ドアのガスケットがキャビネットに密着することを確認します。周囲温度が低いと(冬季)、ガスケットがキャビネットにしっかり密着しないこともあります。密着しない場合は、ガスケットが自然に密着するのを待つか、低温に設定したヘアードライヤーで関連部分を暖めて、密着させてください。